作成日　：2021/3/17

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名称	：オリオン水和剤 40
供給者の会社名称	：ＯＡＴアグリオ株式会社
住所	：東京都千代田区神田小川町 1-3-1　NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署	：品質保証室
電話	：088(684)0220
電子メールアドレス	：sds_info@oat-agrio.co.jp
緊急連絡先電話番号	：03(5283)0251（本社）
使用上の制限	：農薬
整理番号（SDS No.）	：OAT10035α1-1

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分 3
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
特定標的臓器毒性　（単回ばく露）	区分 1（神経系、全身性）
特定標的臓器毒性　（反復ばく露）	区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓） 区分 2（神経系、全身性）

環境に対する有害性

水生環境有害性　短期（急性）	区分 1

*上記で記載がない危険有害性は、分類対象外、区分に該当しない、または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報

H301	飲み込むと有毒
H318	重篤な眼の損傷
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H350	発がんのおそれ
H370	神経系、全身性の障害
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害
H373	長期にわたる、又は反復ばく露による神経系、全身性の障害のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。（P201）
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。（P202）
粉じんを吸入しないこと。（P260）
取扱い後手をよく洗うこと。（P264）
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。（P270）
必要なとき以外は環境への放出を避けること。（P273）

保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）
【応急措置】
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。（P301+P310）
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。（P305+P351+P338）
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。（P308+P311）
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。（P308+P313）
直ちに医師に連絡すること。（P310）
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。（P314）
特別な処置が必要である。（P321）
口をすすぐこと。（P330）
漏出物を回収すること。（P391）
【保管】
施錠して保管すること。（P405）
【廃棄】
内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）こと。（P501）

GHS 分類に関係しない危険有害性
拡散した場合、爆発可能性のある粉じん-空気混合物を形成する可能性あり。

3. 組成、成分情報
化学物質・混合物の区別　：混合物
化学名又は一般名　：アラニカルブ水和剤

成分名	含有量（%）	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
エチル=(Z)-*N*-ベンジル-*N*-{[メチル(1-メチルチオエチリデンアミノオキシカルボニル)アミノ]チオ}-β-アラニナート（一般名：アラニカルブ）	40.0	83130-01-2	-	4-(7)-1625
結晶質シリカ	<40	14808-60-7	(1) -548	-
鉱物質微粉、界面活性剤等	残量	-	-	-

4. 応急措置
吸入した場合
空気の清浄な場所に移動させ、必要があれば医師の診察を受ける。
必要があれば酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合
可能であれば衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石けんを用いて充分に洗浄する。
刺激等の異常が認められる場合には、医師の診察を受ける。
眼に入った場合
速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
刺激等の異常が認められる場合には、眼科医の診察を受ける。
飲み込んだ場合
水で口腔内を洗浄する。
被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。
速やかに医師の診察を受ける。
医師に対する特別な注意事項
吸入したり飲み込んだ場合、カーバメート剤共通の中毒症状を呈する。いずれの場合でも、中毒の疑いがある場合には直ちに医師の診察を受ける。ベンフラカルブによる中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。2-PAM などのオキシムは無効であるので使用しない。患者の症状に応じて、硫酸アトロピン製剤の静脈注射又は筋肉注射を適度な間隔で繰り返す。硫酸アトロピン製剤の投与は中毒症状が消えるまで続ける。必要に応じて酸素吸入を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の状況に応じた消火剤を使用する。
初期火災：粉末消火剤、乾燥砂、霧状水
大規模火災：泡消火剤

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特有の危険有害性

不燃物であるが、本品を含む火災時には、有毒な二酸化硫黄や一酸化炭素及び毒性を有する蒸気が発生するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼するものもある。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。
火災時には初期消火に努める。
周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災が発生した場合には、到着した消防署員や警察官に本品が在ることを知らせる。
鎮火後には本品や消火液が河川等に流出しないように処置をする。
必ず自給式呼吸器及び状況に応じた適切な保護具を着用し、安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置参照）を着用し、風上で作業する。
屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

環境に対する注意事項

魚介類に対して強く作用するため、河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ、漏れを止める。
飛散したものを掃き集めて、密閉できる容器に回収する。
プラスチックシートで覆い、散乱を防ぐ。
漏洩物は元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

安全取扱い注意

取扱い時には、ばく露防止のために適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置参照）を着用する。
用途以外に使用しない。

接触回避

皮膚や眼との接触は避ける。
作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

衛生対策

作業着は再使用の前に洗濯する。

保管

安全な保管条件

直射日光、高温を避け、鍵のかかる冷涼な場所に密封して保管する。

安全な容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度

化学名又は一般名	管理濃度（厚生労働省）	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
結晶質シリカ（石英）	-	【粉塵許容濃度】（吸入性結晶質シリカ）0.03 mg/m^3	TWA 0.025 mg/m^3 (R)

上記成分以外に、管理濃度及び許容濃度が設定された成分を含む。

設備対策
工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具
呼吸用保護具 : 必要に応じて、個人用呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 : 必要に応じて、個人用保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具 : 必要に応じて、個人用の眼及び顔の保護具を着用すること。
化学飛沫用のゴーグル及び規格にあった顔面保護具
安全眼鏡
撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールド
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて、個人用の保護衣、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	類白色
臭い	メルカプタン臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	8.4（10%水溶液）
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	0.164（かさ比重）
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

※数値は製品の代表値である。

10. 安定性及び反応性
反応性
データなし
化学的安定性
通常の保管条件では比較的安定。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
高温
混触危険物質
危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。
危険有害な分解生成物
燃焼時には一酸化炭素や二酸化硫黄等の有毒なガスが発生する。

11. 有害性情報
急性毒性
LD_{50} 値（経口） : 298 mg/kg（雄ラット）、209 mg/kg（雌ラット）
LD_{50} 値（経皮） : >2000 mg/kg（雄雌ラット）
LC_{50} 値（吸入） : >2.015 mg/L（雄雌ラット）

カーバメート系殺虫剤に共通の中毒症状（初期症状として、頭痛、目眩、脱力及び嘔気が現れ、後に縮瞳、眼のかすみ、腹部痙攣、唾液の分泌過剰、過剰発汗、下痢及び嘔吐の症状が現れる）を呈すると考えられる。
皮膚腐食性/刺激性
刺激性なし（ウサギ）

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
極度の刺激性あり（ウサギ）
洗眼効果あり（ウサギ）
希釈液（100 倍、1000 倍）には刺激性なし（ウサギ）
呼吸器感作性
データなし
皮膚感作性
感作性なし（モルモット）
生殖細胞変異原性
区分 2 に分類される成分（結晶質シリカ）を 1%以上含有するため、区分 2 とした。
発がん性
区分 1A に分類される成分（結晶質シリカ）を 0.1%以上含有するため、区分 1A とした。
生殖毒性
データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
区分 1（神経系、全身性）に分類される成分（アラニカルブ）を 10%以上含むため、区分 1（神経系、全身性）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）に分類される成分（結晶質シリカ）を 10%以上含むため、区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）とした。
区分 2（神経系、全身性）に分類される成分（アラニカルブ）を 10%以上含むため、区分 2（神経系、全身性）とした。
誤えん有害性
データなし

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性 短期（急性）
LC_{50}（96 時間） : 1.35 mg/L（コイ）
EC_{50}（48 時間） : 0.1087 mg/L（オオミジンコ）
ErC_{50}（0-72 時間） : 48.9 mg/L（ムレミカヅキモ）
水生環境有害性 長期（慢性）
データなし
残留性・分解性
データなし
生態蓄積性
データなし
土壌中の移動性
データなし
オゾン層への有害性
データなし

13. 廃棄上の注意
排水や河川等に廃棄してはらならない。
知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
国連番号 : 2757
品名（国連輸送名） : カーバメート系殺虫殺菌剤（固体）（毒性のもの）
国連分類 : 6.1
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 該当
応急措置指針番号 : 151
国内規制がある場合の規制情報
毒物及び劇物取締法、船舶安全法、航空法

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 18504 号
毒物及び劇物取締法	劇物（指定令第 2 条）
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9）：165 の 2 結晶質シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9）：165 の 2 結晶質シリカ 特殊健康診断対象物質・現行取締労働者（法第 66 条第 2 項、施行令第 22 条第 1 項）を含む
化学物質管理促進法（PRTR）	第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）：52 エチル=(*Z*)-3-[N-ベンジル-N-[[メチル(1-メチルチオエチリデンアミノオキシカルボニル)アミノ]チオ]アミノ]プロピオナート
化審法	優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項）を含む
船舶安全法	毒物類・毒物
航空法	毒物類・毒物
水質汚濁防止法	指定物質（法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3）を含む
労働基準法	疾病化学物質（法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1）を含む

16. その他の情報

参考

ＯＡＴアグリオ株式会社保有データ
MSDSnavi（日本ケミカルデータベース株式会社、2021）
NITE-CHRIP (https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

連絡先

製品に関する問い合わせ先：コールセンター0120-210-928
中毒に関する緊急問い合わせ先：公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 （情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料：1 件 2000 円）
大阪 （365 日、24 時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば （365 日、9～21 時対応）	029-852-9999	029-851-9999

盗難等で紛失した場合には、速やかにその旨を最寄りの警察署及び関係行政機関に連絡する。

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。
この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、当該製品に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。
当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。